

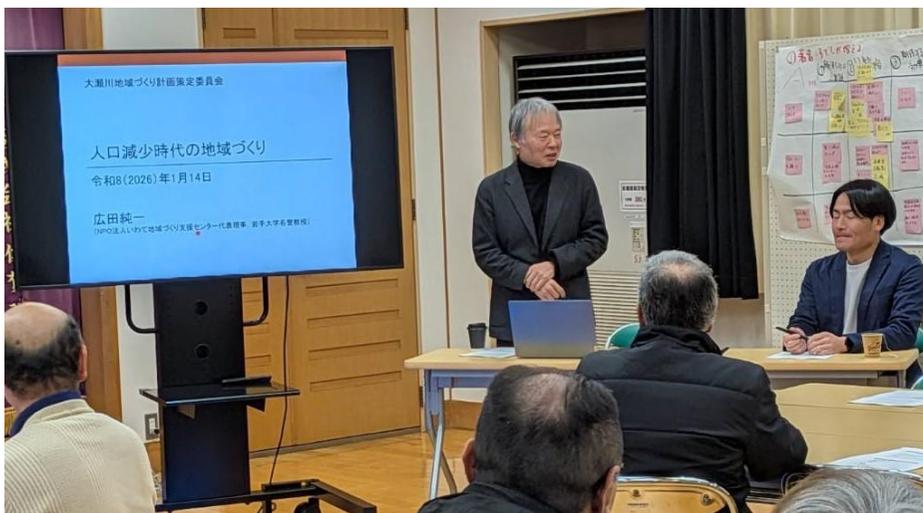
みっくら お知らせ版

令和8年2月1日発行 第451号

発行：大瀬川活性化会議

事務局：花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2

(大瀬川振興センター内) 電話/FAX 45-6472



大瀬川活性化会議（熊谷秀夫会長）は1月14日、大瀬川地域づくり計画策定委員会（構成員23名）を開催しました。広田純一先生（NPO 法人岩手地域づくり支援センター代表理事、岩手大学名誉教授）から「人口減少時代の地域づくり」について解説を聴いた策定委員15名は、1995年～2020年の大瀬川地区の年齢層を含めた人口推移を目の当たりにして、その現実に少なからず衝撃を受けました。その上で、これから先今を生きるわたしたちがすべきこと、できることは何なのかを考えるスタートラインに立とうとしています。策定委員会は今後来年度にかけて、大瀬川の地域ビジョン策定のためのプロジェクトを進めていきます。



「いまのペースで人口減少が進むと？」

大瀬川の人口総数	1995年 1029人	⇒	2020年 660人
うち 0～4歳	41人	⇒	10人

国勢調査より

このペースで2050年の予測をすると・・・はたしてどれくらいになると思いますか？答え合わせは2月22日（日）大瀬川振興センターで！

大瀬川地域ビジョン策定プロジェクト

※地域住民アンケートを実施します

大瀬川活性化会議は地域ビジョン策定プロジェクトとして中学生以上を対象とした住民アンケートを実施します。これからの大瀬川づくりのために、みなさんのお声を聞かせてください。ご協力をお願いします。

○住民アンケート実施日 **2月15日**（区長配布）

※しゃべり場開催 みんなで大瀬川を考えよう！ —みんなでつくる、これからの大瀬川—

○開催日時 **2月22日（日）午後1時30分**
大瀬川振興センター

どなたでも参加できます。詳しくはチラシをご覧ください。



楽しい冬休みの思い出づくり 一大瀬川地区子供育成会

大瀬川地区子供育成会（板垣 徹会長）は1月11日、冬の子供会行事として「わんこそば大会」を花巻の金婚亭で開催しました。子供の数が少なくなり、コロナ禍も重なって、かつて子供たちが経験した地域行事が途絶えていましたが、板垣会長は子供たちに何とか楽しい思い出をつくってあげたいと、冬休みの一日を親子で楽しみました。今回はコロナによって小学生時代に活動を制限されていた中学生や高校生にも参加を呼び掛けました。殆どの子供たちが初めての体験で大人でも多くは初体験のようでした。



岩手の三大麺のひとつ「わんこそば」を体験した子供たちの表情に手応えを感じ、これからも子供たちに「わんこそば」の楽しさを体験してほしいと会長の板垣徹さんは話していました。

今回一番食べた子供は50杯以上、おにぎりもセットで食べきれない分はシェアして残さず完食したということです。



山祇神社

7区の雪・雪

「大袈裟に言えば、こっち（平場）の倍はある」コワイモノ見たさで写真を提供していただきました。連日の雪降りですり除雪作業の疲れもたまりますね。作業中の事故にはじゅうぶん気をつけてください。



振興センター駐車場の雪の壁も高さを増して、お隣のラーメン屋さんが隠れそうです。そろそろ“たろし”が気に掛かる頃。2月11日の測定会が楽しみです。去年のような水不足にはならなそうかな？